



Color & Comfort by Chemistry



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 DIC株式会社

コード番号 4631 URL <http://www.dic-global.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 杉江 和男

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 二宮 啓之

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

TEL 03-3272-4511

平成23年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家等向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	378,872	△3.6	17,932	△13.8	15,546	△17.9	12,529	2.4
23年3月期第2四半期	393,073	9.2	20,810	170.3	18,936	535.2	12,231	—

(注)包括利益 24年3月期第2四半期 14,016百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 672百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	13.66	—
23年3月期第2四半期	14.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	728,968		141,771			16.3
23年3月期	703,760		130,379			15.3

(参考)自己資本 24年3月期第2四半期 119,143百万円 23年3月期 107,748百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
24年3月期	—	2.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	2.00	4.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	740,000	△5.0	36,000	△3.1	30,000	△5.4	17,000	7.9	18.53

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
詳細は、4ページ「3. その他の情報」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	919,372,048 株	23年3月期	919,372,048 株
24年3月期2Q	1,872,792 株	23年3月期	1,862,844 株
24年3月期2Q	917,504,790 株	23年3月期2Q	873,925,558 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページをご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 経営成績	1
(1) 当第2四半期連結累計期間の業績全般の概況	1
(2) 当第2四半期連結累計期間のセグメント別業績	1
(3) 2011年度通期業績予想	3
2. 財政状態	4
3. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の概要	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 経営成績

当社グループの決算期は、一部を除き、海外子会社が12月、国内会社は3月であるため、当第2四半期連結累計期間の状況に関しては、海外子会社は平成23年1～6月、国内会社は平成23年4月～9月について各々記載しています。

(1) 当第2四半期連結累計期間の業績全般の概況

当第2四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く事業環境は、前半において、東日本大震災での被災によるサプライチェーンの寸断で需要が減少する一方、関連特需の発生で前年並みに推移しました。後半においては、欧州の債務危機を契機に世界的な景気減速感が強まったことから、国内外の需要が減少しました。

このような中、当第2四半期において、TFT液晶が伸長したうえ、成長市場でも増収となりましたが、国内外の印刷インキや電気・電子分野向けの出荷が減少しました。その結果、連結累計期間の売上高は、為替排除後では前年同期比0.2%の微減となりましたが、円高の影響により、3,789億円と同3.6%の減収となりました。

営業利益は、原材料価格の上昇や品目構成の悪化などにより、179億円と前年同期比13.8%の減益となりました。

経常利益は、155億円と前年同期比17.9%の減益となりました。

四半期純利益は、関係会社株式の売却益などにより、125億円と前年同期比2.4%の増益となりました。

	前第2四半期 連結累計期間 実績	当第2四半期 連結累計期間 実績	前年同期比	
				為替影響排除後
売上高	3,931億円	3,789億円	△3.6%	△0.2%
営業利益	208	179	△13.8%	△12.2%
経常利益	189	155	△17.9%	--
四半期純利益	122	125	+2.4%	--

(注) 当第2四半期連結累計期間の決算にあたり、海外関係会社の現地通貨建て業績を円貨に換算するための主な為替レート(期中平均：平成23年1月～6月)は、81.74円/米ドル(前年同期：91.17円/米ドル)を適用しています。

(2) 当第2四半期連結累計期間のセグメント別業績

(単位：億円)

事業部門	売上高				営業利益			
	前第2 四半期	当第2 四半期	前年同期比		前第2 四半期	当第2 四半期	前年同期比	
	連結累計期間 実績	連結累計期間 実績		為替影響 排除後	連結累計期間 実績	連結累計期間 実績		為替影響 排除後
印刷インキ	2,056	1,891	△8.0%	△3.2%	76	52	△32.3%	△30.1%
ニューグラフィック アーツ	540	574	+6.3%	+12.9%	22	64	2.8倍	2.9倍
合成樹脂	792	774	△2.2%	△1.2%	80	57	△29.0%	△28.5%
ケミカル ソリューション	764	753	△1.5%	△0.9%	42	23	△44.1%	△43.9%
その他	26	6	△76.4%	△63.6%	8	4	△53.1%	△54.4%
消去又は全社	△247	△209	----	----	△20	△20	----	----
計	3,931	3,789	△3.6%	△0.2%	208	179	△13.8%	△12.2%

各事業部門の業績は次のとおりです。前年同期比の（ ）内の数値は、為替換算の影響を排除した増減比を表しています。なお、印刷インキ事業部門の業績には事業部門内の地域間取引が含まれており、合計金額は上記の業績数値と一致しません。

[印刷インキ事業部門]

・日本 売上高： 461億円 前年同期比 Δ 6.5%
営業利益： 12億円 前年同期比 Δ 27.4%

グラビアインキは、震災により、飲料・食品向け軟包装材関連に特需が発生した一方で、一部原材料の調達難で生産に影響が出たことから、前年同期並みとなりました。オフセットインキと新聞インキは、従前からの需要の減少傾向に加え、震災による用紙不足や原材料の調達難も重なり、減収となりました。

営業利益は、上記の売上状況や原材料価格の上昇の影響などにより減益となりました。

・米州・欧州 売上高：1,173億円 前年同期比 Δ 11.0% (Δ 4.3%)
営業利益： 18億円 前年同期比 Δ 50.9% (Δ 47.8%)

北米、欧州では、パッケージ用インキが微増となりましたが、雑誌や新聞の発行部数減少の影響などにより、出版インキと新聞インキが落ち込み、減収となりました。中南米においては、主力のパッケージ用インキが堅調でしたが、出版インキ、新聞インキともに苦戦を強いられ、前年同期並みにとどまりました。以上の結果、全体としては減収となりました。

営業利益は、合理化によるコスト削減効果はあったものの、上記の売上状況に加え、原材料価格の上昇などにより減益となりました。

・アジア・オセアニア 売上高： 299億円 前年同期比 +6.2% (+11.1%)
営業利益： 22億円 前年同期比 Δ 12.2% (Δ 9.1%)

中国では金融引き締めなどによる景気減速の影響により、オフセットインキとグラビアインキが前年並みとなりましたが、新聞インキが、カラーインキを中心に増大したことにより増収となりました。東南アジア、オセアニアではグラビアインキが堅調に推移しましたが、新聞インキの需要が減少したことにより前年同期並みとなりました。インドでは全品目で需要が増大し、大幅な増収となりました。

営業利益は、特に中国において原材料価格の上昇に対する販売価格の是正に苦戦したことなどにより減益となりました。

[ニューグラフィックアーツ事業部門]

売上高： 574億円 前年同期比 +6.3% (+12.9%)
営業利益： 64億円 前年同期比 2.8倍 (2.9倍)

有機顔料は、国内ではカラーフィルター用が、欧米では塗料・プラスチック用が好調に推移しましたが、国内外においてインキ用が苦戦したため減収となりました。また、光ディスク保護コート剤も、需要の縮小により減収となりましたが、液晶テレビの大手ユーザー向けにTF T液晶の出荷が大幅に拡大したことから、全体では増収となりました。

営業利益は、TF T液晶や欧米における塗料・プラスチック用顔料の増収効果および品目構成の改善などにより増益となりました。

[合成樹脂事業部門]

売上高：774億円 前年同期比 △ 2.2% (△ 1.2%)
 営業利益：57億円 前年同期比 △29.0% (△28.5%)

国内では、自動車関連需要が回復したものの、電気・電子分野の需要減退により、塗料用樹脂などが減少したことから、減収となりました。中国、東南アジアにおいては、需要の拡大により好調に推移しましたが、国内の落ち込みの影響が大きく、全体としては減収となりました。

営業利益は、上記の売上状況や品目構成の悪化などにより減益となりました。

[ケミカルソリューション事業部門]

売上高：753億円 前年同期比 △ 1.5% (△ 0.9%)
 営業利益：23億円 前年同期比 △44.1% (△43.9%)

自動車関連需要の回復により、PPSコンパウンドが好調に推移したほか、競合他社からの生産委託により、ポリスチレンが増収となりました。しかしながら、電気・電子分野の需要の減退により、機能的な光学材料や工業用粘着テープの減少の影響が大きく、全体としては減収となりました。

営業利益は、上記の売上状況に加え、品目構成の悪化や原材料価格の上昇などにより大幅な減益となりました。

(3) 2011年度通期業績予想

平成23年8月5日に公表した業績予想を以下の通り修正致します。

	前期実績	通期予想 (前回予想) ※	増 減 比	
				為替影響排除後
売上高	7,790億円	7,400億円 (7,600)	△5.0%	△1.6%
営業利益	372	360 (430)	△3.1%	△0.8%
経常利益	317	300 (350)	△5.4%	--
当期純利益	158	170 (180)	+7.9%	--

() 内の数値は平成23年8月5日公表値

(業績予想の修正理由)

前回予想に比べ、世界的に景気の減速感が強まり、電気・電子分野を中心に需要の低迷が見込まれることから、上記の通り業績予想を修正致します。

業績の見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営者が判断したものであり、潜在的なリスクや不確定要素が含まれていません。業績に影響を与え得る重要な要素としては、国内外の経済情勢、市場の動向、原材料価格や金利、為替レートの変動などのほか、紛争・訴訟、災害・事故などのリスクがあり、また、事業再構築に伴う一時損失が発生する可能性があります。ただし、業績に影響を与え得る要素はこれらに限定されるものではありません。

2. 財政状態

(資産、負債及び純資産の状況に関する分析)

当第2四半期末の資産の部は前期末と比べて252億円増加し、7,290億円となりました。主として債権流動化の減少に伴い売上債権が増加したためです。負債の部は、有利子負債の増加などにより、前期末比138億円増の5,872億円となりました。また、純資産の部は、当期利益の増加等により前期末比114億円増の1,418億円となりました。

(キャッシュ・フローの状況に関する分析)

[営業活動によるキャッシュ・フロー] 当第2四半期 △207億円 (前第2四半期 △223億円)

当第2四半期連結累計期間は、税金等調整前四半期純利益が169億円、減価償却費が145億円となりました。一方で、運転資本の増加により419億円の資金を使用し、法人税等に36億円を支払いました。以上の結果、営業活動に使用した資金の総額は207億円となりました。

[投資活動によるキャッシュ・フロー] 当第2四半期 △59億円 (前第2四半期 △112億円)

当第2四半期連結累計期間は、設備投資に111億円の資金を使用し、子会社株式の売却により51億円の資金を得た結果、投資活動に使用した資金の総額は59億円となりました。

[財務活動によるキャッシュ・フロー] 当第2四半期 257億円 (前第2四半期 192億円)

当第2四半期連結累計期間は、借入金により284億円の資金を調達した一方で、剰余金の配当として18億円を支払いました。以上の結果、財務活動により得られた資金の総額は257億円となりました。

3. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の概要

一部の連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示の概要

該当事項はありません。

(追加情報)

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (23. 3. 31)	当第2四半期連結会計期間 (23. 9. 30)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,957	19,562
受取手形及び売掛金	185,391	209,922
商品及び製品	66,305	76,374
仕掛品	8,708	9,075
原材料及び貯蔵品	47,238	49,437
その他	32,495	30,958
貸倒引当金	△8,296	△8,293
流動資産合計	354,798	387,035
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	87,466	84,995
機械装置及び運搬具（純額）	65,540	60,836
工具、器具及び備品（純額）	7,744	7,226
土地	54,728	53,295
建設仮勘定	5,153	7,541
有形固定資産合計	220,631	213,893
無形固定資産		
のれん	1,808	1,705
その他	10,509	10,134
無形固定資産合計	12,317	11,839
投資その他の資産		
投資有価証券	30,873	30,792
その他	85,640	85,844
貸倒引当金	△499	△435
投資その他の資産合計	116,014	116,201
固定資産合計	348,962	341,933
資産合計	703,760	728,968

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (23. 3. 31)	当第2四半期連結会計期間 (23. 9. 30)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	121, 224	116, 514
短期借入金	66, 457	76, 432
コマーシャル・ペーパー	—	17, 000
1年内償還予定の社債	5, 000	10, 000
未払法人税等	3, 539	2, 816
賞与引当金	2, 815	2, 886
災害損失引当金	2, 250	2, 250
その他	63, 094	59, 298
流動負債合計	264, 379	287, 196
固定負債		
社債	36, 000	31, 000
長期借入金	222, 962	222, 521
退職給付引当金	22, 135	21, 783
資産除去債務	1, 019	997
その他	26, 886	23, 700
固定負債合計	309, 002	300, 001
負債合計	573, 381	587, 197
純資産の部		
株主資本		
資本金	91, 154	91, 154
資本剰余金	88, 758	88, 758
利益剰余金	39, 475	50, 169
自己株式	△657	△659
株主資本合計	218, 730	229, 422
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△73	△743
繰延ヘッジ損益	△293	△272
年金負債調整額	△18, 117	△18, 346
為替換算調整勘定	△92, 499	△90, 918
その他の包括利益累計額合計	△110, 982	△110, 279
少数株主持分	22, 631	22, 628
純資産合計	130, 379	141, 771
負債純資産合計	703, 760	728, 968

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (22. 4. 1～22. 9. 30)	当第2四半期連結累計期間 (23. 4. 1～23. 9. 30)
売上高	393,073	378,872
売上原価	308,887	304,413
売上総利益	84,186	74,459
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び手当	20,787	19,061
貸倒引当金繰入額	786	144
賞与引当金繰入額	992	867
退職給付費用	2,437	1,975
その他	38,374	34,480
販売費及び一般管理費合計	63,376	56,527
営業利益	20,810	17,932
営業外収益		
受取利息	552	1,062
受取配当金	135	126
為替差益	610	—
持分法による投資利益	1,011	1,376
その他	1,435	1,465
営業外収益合計	3,743	4,029
営業外費用		
支払利息	3,514	3,855
為替差損	—	1,067
その他	2,103	1,493
営業外費用合計	5,617	6,415
経常利益	18,936	15,546
特別利益		
関係会社株式売却益	—	2,984
固定資産売却益	—	287
事業譲渡益	605	—
特別利益合計	605	3,271
特別損失		
リストラ関連退職損失	325	1,509
固定資産処分損	1,548	448
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	692	—
特別損失合計	2,565	1,957
税金等調整前四半期純利益	16,976	16,860
法人税等	3,514	3,615
少数株主損益調整前四半期純利益	13,462	13,245
少数株主利益	1,231	716
四半期純利益	12,231	12,529

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (22. 4. 1~22. 9. 30)	当第2四半期連結累計期間 (23. 4. 1~23. 9. 30)
少数株主損益調整前四半期純利益	13,462	13,245
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△672	△659
繰延ヘッジ損益	△215	20
年金負債調整額	1,978	△229
為替換算調整勘定	△13,336	1,212
持分法適用会社に対する持分相当額	△545	427
その他の包括利益合計	△12,790	771
四半期包括利益	672	14,016
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△366	13,232
少数株主に係る四半期包括利益	1,038	784

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (22. 4. 1~22. 9. 30)	当第2四半期連結累計期間 (23. 4. 1~23. 9. 30)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	16,976	16,860
減価償却費	16,429	14,472
のれん償却額	291	216
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△208	8
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△102	100
受取利息及び受取配当金	△687	△1,188
持分法による投資損益 (△は益)	△1,011	△1,376
支払利息	3,514	3,855
固定資産除売却損益 (△は益)	1,548	161
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	△2,984
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	692	—
事業譲渡損益 (△は益)	△605	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△45,378	△23,559
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△5,915	△11,919
仕入債務の増減額 (△は減少)	940	△6,389
その他	△719	△2,812
小計	△14,235	△14,555
利息及び配当金の受取額	751	1,491
利息の支払額	△3,566	△3,984
法人税等の支払額	△5,201	△3,626
営業活動によるキャッシュ・フロー	△22,251	△20,674
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1	△437
有形固定資産の取得による支出	△9,514	△10,269
有形固定資産の売却による収入	847	615
無形固定資産の取得による支出	△681	△824
無形固定資産の売却による収入	24	1
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	5,082
関係会社株式及び出資金の取得による支出	△217	△133
関係会社株式及び出資金の売却による収入	56	76
投資有価証券の取得による支出	△385	△109
投資有価証券の売却及び償還による収入	43	20
事業譲受による支出	△1,269	△62
その他	△62	95
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,159	△5,945

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (22. 4. 1~22. 9. 30)	当第2四半期連結累計期間 (23. 4. 1~23. 9. 30)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	14,305	14,334
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	3,800	17,000
長期借入れによる収入	12,797	20,545
長期借入金の返済による支出	△7,017	△23,487
社債の償還による支出	△20,000	—
株式の発行による収入	17,462	—
配当金の支払額	△1,582	△1,835
少数株主への配当金の支払額	△479	△669
自己株式の純増減額 (△は増加)	△3	△2
その他	△60	△212
財務活動によるキャッシュ・フロー	19,223	25,674
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,912	△2,888
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△9,275	△3,833
現金及び現金同等物の期首残高	29,549	22,884
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,274	19,051

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	合計
	印刷 インキ	ニューグラ フィック アーツ	合成樹脂	ケミカルソリ ューション	計		
売上高							
外部顧客への売上高	205,562	35,032	73,893	76,010	390,497	2,576	393,073
セグメント間の内部売上高 又は振替高	47	18,963	5,269	377	24,656	—	24,656
計	205,609	53,995	79,162	76,387	415,153	2,576	417,729
セグメント利益	7,629	2,237	7,982	4,174	22,022	751	22,773

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	22,022
「その他」の区分の利益	751
全社費用（注）	△1,963
四半期連結損益計算書の営業利益	20,810

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総合研究所に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	合計
	印刷 インキ	ニューグラ フィック アーツ	合成樹脂	ケミカルソリ ューション	計		
売上高							
外部顧客への売上高	189,033	41,157	72,822	75,253	378,265	607	378,872
セグメント間の内部売上高 又は振替高	93	16,235	4,572	16	20,916	—	20,916
計	189,126	57,392	77,394	75,269	399,181	607	399,788
セグメント利益	5,162	6,373	5,666	2,333	19,534	352	19,886

4. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	19,534
「その他」の区分の利益	352
全社費用(注)	△1,954
四半期連結損益計算書の営業利益	17,932

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総合研究所に係る費用であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。